

MAST

Mikawa Akabane Shizuoka Toyohashi

岡崎教区広報誌

2022年5月

第4号

発行所／真宗大谷派岡崎教務所

発行人／木嶋 孝慈

編集／教区教化委員会メディア部会

印刷／ブラザー印刷株式会社

研修会報告

教区法宝物展示会

教区慶讃事業 始動!!

てら活（お寺の活動紹介）

是旃陀羅問題学習会

同朋社会推進部会 渡邊 潤

2021年12月17日に教務所において「是旃陀羅問題学習会」が開催されました。当初6月に開催予定でありましたが、緊急事態宣言中であつたため、期日を変更しての開催となりました。講師には雨森慶為氏（元解放運動推進本部委員）を迎え、「身元調査お断り・過去帳閲覧禁止について」の講題での講義をいただきました。

過去帳による身元調査が行われるようになったのは、1872年（明治5年）に施行された、旧身分の記載のあ



る「壬申戸籍」が1968年（昭和43年）に全面閲覧禁止になったことによるものです。過去帳の中には旧身分の記載のあるものや、差別法名が記載されているものもあり、それらが差別問題として糾弾されたこともあります。

また、テレビ番組の中で過去帳やそれに類するものの映像が放送されたことにより、寺院の守秘義務の意識の低さや、閲覧が可能であるとの誤った認識を与えてしまったことも、多くの問題を残しました。

意図的ではなくても、差別を助長する行動をしかねないということ、住職には守秘義務があるということをきちんと理解し、過去帳の扱いには細心の注意を払わなければならないということの重要性を確認する研修会となりました。

「身元調査お断り・過去帳閲覧禁止」と言われ始めてすでに50年が過ぎ、なぜそのように至ったかの経緯を知らない人が多くなった現在において、継続して学習の場を維持していくことの大切さを感じました。

ハンセン病問題学習会

同朋社会推進部会 境 広昭

2022年1月20日に「ハンセン病問題学習会」が行われました。

内容は、映画『一人になる』を上映の後、この映画の制作実行委員会事務局長を務めた訓覇浩氏（三重教区金蔵寺）をお迎えして、講義と質疑応答がありました。

この映画は、国によるハンセン病強制隔離政策による差別の歴史と、この隔離に抗した医師・小笠原登さんについてドキュメンタリー映画です。

小笠原登さんは、真宗の僧侶でもあり、念仏者でした。当時の宗門は国の差別施策に追従していました。そんな中で小笠原さんは「ハンセン病は不治の病で



はないし、遺伝でも、強烈な伝染病でもない。隔離は必要ない。」と、言い続け、患者を隔離から守ろうとした方です。まだ見たことがない多くの方々にも、見ていただきたい、見て知るべき映画だと思いました。

講義では、はじめに映画制作における信念とご苦労を話されました。その中で、「小笠原登さんをヒーローにしてはいけない。」「善悪の問題にしまつたら人権問題では無くなってしまう。」という言葉が印象的でした。

『一人になる』というタイトルについて、それは「みんな（考えず流されて生きる存在）」になるな、ということ。と言っておられました。

集団は足並みそろえて間違つた方向に進むことがあります。差別はこうして生まれ、くり返されます。

講義で訓覇さんは、「この映画でこれから先、何をしていくのか。が描けなかった。」と語っていました。この言葉は同時に、この映画を見た我々に「これから何をしていくのか。」と問われている気がしました。

教区法宝物展示会

三河別院の報恩講期間（2022年3月3日～8日）にあわせ、教区教化委員会史料調査部会主催による展示会「近現代東本願寺歴代の芸術文化」が開催されました。

このたびの26世門首継承を記念し、近現代の歴代のご染筆の書画や茶道具などが数多く展示され、その芸術性の高さや大谷家と教区内寺院との交わりを知る貴重な展示会となりました。



品 目	所 蔵
達如上人 詠歌懷紙（特別出品）	専興寺（碧南市）
達如上人 鳩香合（特別出品）	個人
嚴如上人画 竹に蜘蛛の絵	圓光寺（安城市）
嚴如上人画 千利休像	個人
嚴如上人筆 往生礼讃文二行	蓮成寺（碧南市）
嚴如上人 詠歌色紙	個人
嚴如上人 造梅之絵茶盃	個人
嚴如上人御好 樺木地牡丹置上平棗	西照寺（岡崎市）
嚴如上人宝珠型香合	個人
現如上人筆一行	正念寺（西尾市）
現如上人 蘭の図	西光寺（岡崎市）
短冊 現如（光瑩）・恒子夫妻詠	個人
現如上人 赤染茶盃「夕煙」	専興寺（碧南市）
現如上人御好 「雪佛」香合	個人
壽無量帖	正念寺（西尾市）
彰如（句仏）上人俳句幅	浄光寺（岡崎市）
彰如（句仏）上人俳句	西光寺（岡崎市）
彰如（句仏）上人画賛「稚松」	弘願坊（知立市）
彰如（句仏）上人画賛「芥子」	個人
彰如（句仏）上人短冊	因超寺（豊田市）
短冊 彰如上人裏方 章子詠歌	慶徳寺（西尾市）
維馨帖	専光寺（岡崎市）
彰如（句仏）上人 句入り赤染茶盃	専興寺（碧南市）
彰如（句仏）上人作 茶杓 銘「初東風」	個人
彰如（句仏）上人作 茶杓 銘「末黒野」	西照寺（岡崎市）
彰如（句仏）上人 菓子鉢	如意寺（豊田市）
闡如上人 筆一行	蓮成寺（碧南市）
闡如上人・智子夫妻 茶盃	個人
闡如上人 茶杓三点	本山内事部
闡如上人・智子夫妻かざり皿	専興寺（碧南市）
淨如暢顯師一行	西光寺（岡崎市）
淨如暢顯師 茶盃	西圓寺（田原市野田）
大谷妙子夫人筆扇（複製）	西圓寺（田原市野田）
修如暢裕師一行書	等覺寺（碧南市）

教区慶讃事業 始動!!

2023年にお迎えする「宗

祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」を勝縁とし、「共に」を生きたる」を基本理念に据え、教区の慶讃事業を推進してまいります。

事業を推進していくために「共学」「共化」「共有」の3つの専門部会を設置し、「青少年教化への取り組み」「教区教学研鑽機関の設置」「教区教化体制の構築」「情報の共有」について、重点的に取り組んでまいります。また、常任本部会では、「教区お待ち受け大会」の内容を企画検討してまいります。

そこで、今回は各部会長から部会の取り組みや「わたしの心動かされた言葉」をご紹介します。

岡崎教区

岡崎教区 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業推進委員会

委員構成30人以内
・教区会正副議長
・教区門徒会正副会長
・教区会議員
・教区門徒会員
・教区教化委員
・教務所長が選定した者

共学部会

○教学研究機関の設置に関する事項
○青少年教化に関する事項

教区重点施策
○青少年教化の取り組み
○教区教学研究機関の設置
○教区教化体制の構築
(寺院活性化支援室の設置)
○情報共有
記念事業
○教区会館の耐震補強及び改修

常任本部会

○事業の統括・連絡調整
○委員会から委任された事項
○お待ち受けに関する事項
○本山団体参拝に関する事項
○記念事業に関する事項

共有部会

○情報の共有に関する事項
○広報に関する事項

共化部会

○教区教化体制の構築に関する事項

慶讃法要 教区 お待ち受け大会予告

期 日：2022年10月13日(休)

会 場：岡崎教区会館 他

記念講演：尾畑 文正 氏

(同朋大学名誉教授)

日 程：詳細な日程・内容、オンライン配信等については、現在検討中のため、決定次第改めてお知らせいたします。

共学部会

部会長 本田 康英

共学部会は、①教学研究機関の設置と、②青少年教化の重要性の明確化とその教化内容の構築、の二つについて協議を重ねています。

教学研究機関は、教学と教化を一体と考え、学びと出遇いの場所となることを願っています。私たちは教化することを大切にしますが、何を基礎としてどのように行うかがとても不明瞭になっています。社会の問題に答えられる学びを蓄えた組織を目指していくことができればと考えています。

近い未来はより生きにくい時代となると言われています。人間教育の基礎は幼年期だと言われる時にこそ、近い未来を歩む青少年の人たちに対し、生きることの意味を伝えます。青少年教化の重要性を明らかにし、具体的な事例の提示に向けて取り組んでいきたいと思っています。

わたしの心動かされた言葉

「宜^ぎ自^じ決断^{けつだん}(宜しく自ら決断して)」

仏説無量寿経下巻に示されているそうです。日々私たちは、常に大小さまざまな決断を迫られています。その折に、何を根拠に決断をするのでしょうか。自分中心の我欲において、良し悪しを測って決めている。だから、その結果が思いに沿わないと愚痴を言う。信心の智慧において決断をする。真に求めるところからの決断が迫られています。

この慶讃法要は、私にとって如何なる法要とされますか。



共化部会

部会長 安藤 誠也

共化部会では今回の慶讃法要を機縁として、ここ数年来、声が上がっていた中央ならびに地域教化センターの見直しを行います。私たちの教化活動の根幹は、先達から引き継がれている「共同教化」という言葉に尽きます。それがいかにつまぐ機能するのかを教区の諸先輩方が、より最良であることを目指して議論を重ね構築されました。

しかし、その都度省みることも大切であつたはず。教化センターにどんな願いが込められ、開設に至るまでの取り残された課題はなんであつたのか。今あるもの(存在)を全て打ち壊すというものではなく、立ち止ってきちんと見つめ直すという姿勢を貫かねばとも思っています。



わたしの心動かされた言葉

「仏さまの教えは世を問う教えである。」

これは和田^{わだしげし}稠^{しげし}先生の言葉です。

世を問うということとは、逆に自分がいま居る世から何を問われているのかを考えることだとも思います。もちろん今(現在)を考えることは、同時に過去と未来をも考えることです。慶讃法要をお迎えするにあたって、変えなければいけないこと、また変えてはいけないことを見据える機縁といたします。

共有部会

部会長 髻 敏郎

「共に」を生きたる」という心掛けのもと、「お寺に関わるすべての人々の共同参画を目指した寺院活動の実現」を、共有部会の具体目標としてと考えています。

共有部会は「情報の発信や共有」が使命となります。誰との情報共有か―それは、いまお寺に携わってくださっている方々に加えて、親と別世帯に生活する次世代のご門徒や「無宗教」と称される現代若者世帯を意識した取り組みだと考えています。一般社会を生きたるすべての方に教団の願いや信念をいまお伝えする姿勢を持たなければ、今後宗門の存在は細々としたものになっていってしまうだろうと感じています。

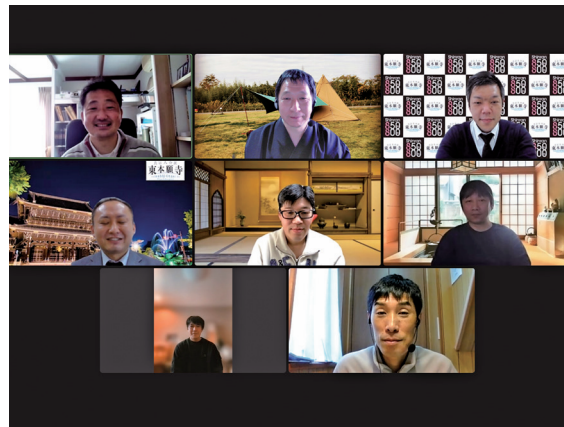
新しい世代の共同参画が得られる寺院活動の方法について積極的に扱い、共有を心掛ける部会となるよう励んでいきたいと思っています。

わたしの心動かされた言葉

「あらゆる人々を御同朋御同行として敬われた親鸞聖人」

周りの人と敬い合つことのできない私たちに、敬い合う世界に帰る(帰敬)きっかけを与えてくださる弥陀の本願。それに出遇われた宗祖は、温かな世界に導かれていくような大きな喜びを抱いていたのではないかと想像します。

「慶」「讃」の原点に立ち返ろうとする際に、分かりやすい表現として手掛かりになるのではないかと感じています。



Shinran
500th

南無阿弥陀仏

人と生まれたことの
意味をたずねていこう

教 区

伝道研修会

- 日** 5月9日(月) 13時30分～17時30分
講 蒲池 勢至氏(名古屋教区長善寺)
日 6月28日(火)～29日(水)
講 伊藤 元氏(九州教区徳連寺)
会 教区会館
費 無料
※教師座席対象研修(一種)
※詳細はチラシをご覧ください

第2回 新任教師のついで

- 日** 5月24日(火) 10時30分～16時30分
会 教区会館
費 無料
※教師座席対象研修(一種)

災害ボランティア研修会

- 日** 6月2日(木) 14時～16時
会 教区会館
講 高山 信雄氏
(おてらおやつクラブ理事)

内 今できる支援について「NPO法人

おてらおやつクラブ」の取り組みを通して学ぶ。

費 無料

メディア研修会「広報誌の制作講座」

- 日** 6月8日(水) 14時～16時
講 岡田 吉生氏
(ブラザー印刷(株)前会長)

内 寺報制作の参考になる実践的講座です。

会 教区会館

費 無料

団 体

教区合唱団コルアバー

「結成15周年記念コンサート」

- 日** 5月11日(水) 13時30分～15時30分
会 教区会館
費 5000円

地 域

静岡別院

「別院さんの公開講座」(法話)

- 日** 5月13日(金) 14時～16時
講 海 法龍氏(東京教区長願寺)
テ 人と生まれてー誕生と立教開宗ー
日 6月13日(月) 14時～16時
講 渡邊 愛子氏
(京都光華女子大学非常勤講師)
テ 仏典の星々を仰ぐ
費 無料(2回とも)
会 静岡別院(2回とも)

連区児童教化連盟一泊研修会

- 日** 5月30日(月)～31日(火)
問 岐阜高山教務所
☎ 058-1266-1378

連区坊守研修会

- 日** 5月17日(火) 10時～15時15分
講 安藤 弥氏(第7組浄専寺)
講 柳野 明仁氏(第11組本澄寺)
テ 「蓮如上人と三河の真宗」(安藤弥氏)
「琵琶で語る蓮如上人御絵伝」
(柳野 明仁氏)
費 6,000円
会 岡崎ニユーグランドホテル
問 岡崎教務所

有 志

「正信偈学習会」

- 日** ① 5月13日(金) 13時～
会 ① 豊橋別院
日 ② 6月15日(水) 13時～ 16日(木) 9時～
会 ② 三河別院東別院会館
日 ③ 7月4日(月) 13時～
会 ③ 第16組本證寺
講 四衛 亮氏(岐阜高山教区不遠寺)
内 正信偈のことばの解説だけでなく、私にまで伝わった本願の歴史、親鸞聖人のお心を深く掘り下げて学ぶ講座です
費 5,000円/1回※全日程同じです
問 小栗 貴次
☎ 090-4252-7146

子ども食堂の取り組み

しんらくじ すずやま のりつべ
第33組真楽寺 勸山 法紹 (1981年生まれ)

住所：静岡県沼津市末広町170番地



以前から時々お寺に食べ物を求めて突然やって来る人がおり、炊飯器に残っているご飯を握って、差し上げたりしていました。縁あって沼津市内のお寺を拠点に食品の寄付を募る活動(フードドライブ)を始めたのが6年前です。地域に点在する寺と、フードドライブの相性はよいのかもしれない。沼津市内の寺院にたくさんの食品が寄せられ、若者の就労支援をするNPOやボランティアの方々の尽力で、集めた食品を毎週地元ですぐ配る仕組みが作られていきました。

あるとき、公共施設の調理室で開かれている食堂を見学しました。消防法により利用人数が制限され、使い勝手が厳しいと聞き、だったらお寺でやりませんか?と2019年6月から月に一度本堂で、みんなで作って食べる会「かわつそ堂」を始めました。

調理は4、5人のご門徒の女性が協力を申し出てくださり、食器や鍋、釜なども次々に寄せて頂き、30～40人分の食事を作ります。午後3時頃から調理を始め、5時には短くおゆうじを勤め、6時にいただきます。地域のお年寄り、NPOの方、ボランティアの高校生、ひとり親家庭のお母さんたちも三々五々加わり、一緒に盛り付けをし、食べています。ご門徒さんが今朝掘ったばかりの大根や里芋をお持ちくださり、さつそく味噌汁にして

いただきます。目の前に生産者、調理者がいると、「いただきます」は自然に感じられます。

食後は子どもたちが走り回るのを眺めつつ、お母さん同士が雑談をしてくれます。少しゆつくりしてから、皆さん談笑しながら帰っていかれます。毎月一緒に食べるうち、お母さんたちは調理の女性に料理の仕方を訊いたり、自ら片付けや盛り付けをお手伝いくださるようになりました。調理の「ベテランお母さん」も子どもたちに声をかけたり、自然と互いに心をかけ、言葉をかけあう淡いつながりが生まれています。

新型コロナの流行以来、感染状況によってお弁当の配布と本堂での会食を切り替えながら実施しています。他愛ない話ができる時間が失われてみて、貴重な場だったと感じます。今年2月、少し多めに用意した食材でお弁当がいくつか余分にできたところ、NPOの女性が、このすぐ近所に何人が渡したい人がいるからと預かってくれました。

このひと月の間に、寺からそう遠くない海辺の松林の中で、ブルーシートで生活していた人がミイラ化して見つかったり、60代の男性が80代の母親と無理心中して亡くなるという出来事がありました。身近でこうした悲しい出来事が起きるという事実言葉に失います。



お寺が駆け込める場所となることを願います。

岡崎教区 真宗学院卒業式

3月26日、第14期真宗学院の卒業式が執り行われ、学院生11名が教師資格に必要な課程を修了しました。



今期の学院生は、新型コロナウイルスの状況下の中、緊急事態宣言期間中は、自宅学習やオンライン授業でなんとか学びを止めずに、3年間学び続けてきました。

教師修練においても、事前に検温や抗原検査を行い、大変厳しい環境の中で受講されました。

学院生によって状況は様々ですが、大谷派教師としての歩みがこれから始まります。

住職就任

第34組 真勝寺 一郷 真

〔2022年2月28日任命〕

編集後記

今号から慶讃法要に向けてのページが始まりました。教区慶讃事業推進委員会の共有部会と協力して進めてまいります。

始まった途端、「まん延防止等重点措置」期間となり、オンライン会議が主な話し合いの場となりましたが、関係者の皆様のご協力でなんとかここまで漕ぎつけました。MASTに吹く風はたくさんあるのだと嬉しく思いました。

まずは、秋のお待ち受け大会まで。あまり時間はありませんが、伝えたいこと・知りたいことを載せられれば、と一同考えております。

(きょうごく)



法語

明るい人はすばらしい
悩んでいる人は尊い

林 暁宇

はやし ぎょうう
林 暁宇

1923(大正12年)～2007(平成19年)
北海道生まれ。暁烏敏を慕い明達寺の衆徒となる。

※この法語は『日めくり法語 一語一遇』(東本願寺出版)より抜粋しました。教務所にてお買い求めいただけます。

みなさまの声をお聞かせください

『MAST』に対するご意見、ご要望をお寄せください。下記メールアドレスにて受け付けております。より多くの方に、手に取っていただける広報誌にするためにみなさまのご協力をお願いします。

岡崎教務所 (MAST担当) okazaki@higashihonganji.or.jp



岡崎教区ホームページ



岡崎教区facebook